



大阪市立 南百済小学校

- 所在地 湯里1-15-40
- 電話番号 06-6701-0207
- HPアドレス <https://swa.city-osaka.ed.jp/weblog/index.php?id=e741695>
- 校長 二俣 峰雄
- 標準服 あり
- 集団登校 あり

携帯用



スマホ用



学校概要

校訓、教育目標、めざす子ども像

- ①校訓：自主 創造 協同 責任
- ②教育目標：確かな学力・豊かな人間性・心身ともに健康な子ども

③めざす子ども像

- 自ら学ぶ子ども（学力向上）
- 互いの違いを認め合える子ども（道徳心・社会性の育成）
- いきいきと生活する子ども（健康・体力の保持増進）
（すべての教育活動の基盤に人権教育の精神を）

運営に関する計画

【安心・安全な教育の推進】

- 「いじめについて考える日」の実施や年2回以上の教職員研修を通じ、いじめを許さない環境づくりを進める。また、職員会議後の児童理解研修等で全教職員の情報共有を図り、早期対応・早期解決につなげる。道徳の授業や「いいところ見つけ」、自尊感情週間を通じて自尊感情の向上を図る。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 国語科と算数科では、navima やプリントを用いた週1回以上の自主学習で反復練習を行い、基礎能力の向上をめざす。また、週5回以上のペア・グループ活動を取り入れ、効果的な話し合い活動を指導する。体力面では、年2回以上の投に関する運動や環境整備を行い、運動に親しむ機会を増やす。

【学びを支える教育環境の充実】

- 毎日1回以上の端末活用をめざし、各教科や南百済タイムでの指導計画を工夫する。校務の偏り軽減や会議の見直し、月2回のゆとりの日設定で業務効率化を進める。学校司書と協力した学期1回の図書イベント等で読書習慣の定着を図る。

児童数・学級数

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
児童数	91	81	75	89	99	74	509
学級数	3	3	3	3	3	3	18
特別支援学級							7

全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果（令和7年度）

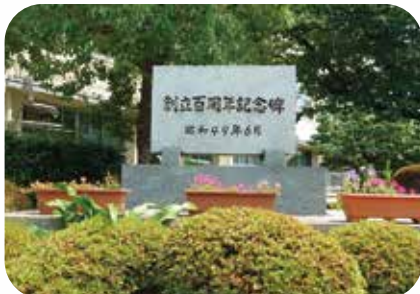
※全国・大阪市の平均についてはP12を参照

種目別	種目	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横跳び	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
平均値	男子	14.84	18.26	38.97	48.86	48.27	9.50	143.84	21.03	52.58
	女子	14.87	17.19	41.68	46.27	32.41	9.97	128.87	12.43	53.00

投の力向上を目標に掲げて2年目、大きく全国平均と差を空けられていた「ソフトボール投げ」は全国平均に迫る勢いで伸びてきている。とは言え、まだわずかに全国平均を下回っているため、投の運動に親しむ環境づくりやイベントの取り組みは継続していく。また、今回「立ち幅跳び（跳躍力）」が課題として挙げたが、「長座体前屈」で優秀であることは、跳躍力を伸ばすための大きなアドバンテージであると考えられる。柔軟性（伸びる力）はあるので、あとはそこに瞬発力（素早く縮める力）を加えていきたい。そのため、「跳躍力」を鍛える運動（プライオメトリック・トレーニング等）を体育学習のウォーミングアップに取り入れていく。また、運動することに苦手意識をもっている児童も運動に親しめるように、厳格な競技ルールよりも、友達と一緒に楽しめる「遊び」の要素が強いメニューを導入したり、誰でも達成可能な「級」や目標を設定したりし、小さな成功体験を積み重ねるなど運動に親しみやすい環境づくりに努めていく。

学校の沿革のうち、特筆すべき事項

明治7（1874）年林覚寺という校区にあるお寺に仮の教室を設け、住吉郡4番小学校として開校。その翌年に校舎が湯谷島という所に建設されました。やがて、東田辺・鷹合・今川・湯里の各小学校が本校から分離・独立していきます。平成23（2011）年度には中運動場が芝生化。令和6年6月1日には創立150周年を迎え、記念式典や花火大会など地域一帯で祝賀記念を行いました。



家庭・地域との連携

- 地域のボランティア「南百済グリーンクラブ」の方々が、子どもたちが安心して遊べる中運動場（なかうん）の芝生を管理してくださり、年中ふかふかな芝生で遊ぶことができます。キッズサポーターとしてお手伝いをして参加する子どももいます。
- 毎月の土曜日に「南百こども食堂」が2度開催されます。子どもたちの「居場所」「子育て中の親のリフレッシュの場」として利用でき、家庭・地域が連携し、一丸となって子どもや保護者の方々を見守って頂いています。



学校の施設、校舎、運動場の面積

南百済小学校には「なかうん」、「ひがうん」という愛称で親しまれている2つの運動場があります。前者が中運動場で、平成23（2011）年度に芝生化。児童は芝生の感触を確かめながら鬼ごっこなどを楽しんでいます。後者の東運動場では、広大な敷地を生かして、サッカーやドッジボールなどの球技を楽しんでいます。土曜日には児童が安心して遊べるようにと校庭が開放されます。ソフトボール、サッカー、バスケットボールなどの社会体育も盛んに行われています。令和10年度には、現在の東運動場に5階建ての新校舎、新体育館、新プールが建設されます。現在の中運動場に、新運動場が建設されます。



まもるんジャー

南百済地域では「子どもの安全に関わる積極的な活動を！」という気運が高まり、平成17（2005）年4月、学校・保護者・地域がネットワークを組んで、学校支援見守り隊「まもるんジャー」が結成されました。黄緑色のゼッケンやジャンパーを着た地域住民の多くの方々がPTA 郊外指導委員の方々と協力しながら、「ごほうびは子どもたちの笑顔」を合言葉にして、子どもたちの登下校を毎日見守っています。毎年4月には、まもるんジャーの方々と対面式を行い、一緒に下校するのが恒例となっています。

総合的な学習の時間の内容その他教科・領域等の教育に関する情報

南百済小学校では、ゲストティーチャーを招へいして数々の出前授業を行っています。2年生の「昔遊び体験」では地域の方々にけん玉、ビー玉、お手玉などの昔遊びを、3年生の「昔の道具体験」では洗濯板での洗濯や七輪を使ったもち焼きなどを教えていただきます。



創立150周年記念式典

令和6年6月、創立150周年記念式典を挙行了しました。毎年運動会で5年生が演技する南百ソーランの法被が記念事業委員会よりプレゼントされ、式典でお披露目の演技を行いました。新しい伝統として、歴代の5年生に引き継がれています。

